

幼児の自然体験型環境学習プログラム

プログラム名	みーつけた！！	
対象年齢	5歳児 年長	
メッセージ	森の中のやみの世界に気づこう	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 発見・体感できること 自然物が楽しいあそび道具になること 自然物を使い、作ったり見たりすることの楽しさ 	
参加者のめやす	幼児 22人	支援者 2人
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
準備	<ul style="list-style-type: none"> くじびきを作成しておく。 看板を作成しておく。 自然物を集めて、加工しておく。 	
0:00	今日する遊びについて説明する	<ul style="list-style-type: none"> 普段遊んでいる場所（トンネル）を見立てることにより、遊びへの興味を持てるようにする。 夜の生きものの世界の話をして、闇の世界に子どもたちが興味を持てるようにする。
0:03	保育者が実演する	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが遊びに入り込めるように、ヒントや発見につなげる。
0:06	子どもたちが問題をつくる <ul style="list-style-type: none"> グループごとに分かれる くじをひいてテーマを決める 自然物を使い、文字や色、数、形を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールの説明や約束事を伝えて、楽しく遊べるようにする。
		いつものトンネルが「とんねるしあたー」になった！

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:16	子どもたちが実演し、当てあっこをする	<ul style="list-style-type: none"> 子ども自身に答えを出してもらえるようにしていく。
0:20	子どもに遊んだ感想を聞く	<ul style="list-style-type: none"> 自然物、トンネルを使い身近に遊んでいけることの楽しさを伝える。 やみの中でも木のすきまから、いろいろなものが見たり、発見したりできることに気づけるよう伝えていく。
	何が通るか、見たい気持ちがあんぱん湧いてくる	答えはあんぱんマンでした～
	【園や家庭へ帰ってから】	
	園で・・・ <ul style="list-style-type: none"> 目を閉じてみることで闇を感じる。 闇をプラスに感じるような展開を行う。 山登りの際に、闇を感じる遊びを取り入れる。 ダンボールでトンネルを作って窓を作って、このプログラムを行う。 家庭で・・・ <ul style="list-style-type: none"> 夏至や冬至のキャンドルナイトで、ろうそくで暮らしてみる。 夜空や月を見上げてもらう。電気の明かりとの違いを比べてもらう。 	
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> くじ引き 看板 画用紙 セロテープ 	